

## 成長につながる評価

副校長 武内 伸輔

最近、子供の登校前、校内の見回りの時に楽しみにしていることが2つあります。

1つは屋上で渋谷駅方面の建設中のビルが日に日に高くなっていき、外装もでき始め、ビルらしくなっていく様子を見ることです。今では、後方の渋谷スカイと肩を並べるくらいになってきました。「駅前の工事が猿楽小学校でこんな風に見られるようになったのか。」と感じています。



まだ、高くなるのでしょうか

もう1つは廊下の児童の作品を見ることです。4月に比べて1年生が立派な文字で名前を書いているのを見たり、3年生の習字が「筆の入り方、とめ方」ができてきて文字になってくるのを楽しみに見たりしています。また、6年生は職業について調べたことを丁寧にまとめているのを見て、「やっぱり6年生はすごいな。今の1年生も何年か後には、こんなこともできるようになるのか。」と成長をわくわくしながら想像しています。

10月5日(水)で前期の活動が終わります。その際に「あゆみ」をお渡しします。教員が評価をする際に気を付けているのは「そこまでの評価だけではなく、次の成長につながる評価もすること」です。そこには「よくできた」や「もう少し」の丸だけでは評価できないものもたくさんあります。

半年後、1年後に成果が表れることや、6年生の作品のように6年後に積み重ねが表れることもあります。また、ビルのように計画から何年もたってできることもあるかもしれません。教員は「あゆみ」を渡す時に「あゆみには表しきれなかった次につながる話」を児童一人一人にしながら渡すようにしています。

お子様をご家庭に「あゆみ」を持ち帰りましたら、「先生からどんな話があった。」と聞いてみてください。ご家庭でもその視点で「あゆみ」をご覧になって子供の成長につなげていただきたいと思います。また、10月15日の学校公開では、児童の作品や様子を見て成長を見付け、ご家庭でお話していただけると幸いです。

保護者のみなさまにおかれましては前期の教育活動へのご協力ありがとうございました。後期もよろしく申し上げます。

### 後期（11月）より学校便りと学年便りを一本化します

今まで学校だよりと、学年だよりに同じ情報が記載されていることが多々ありました。そこで、11月号の学校だより「猿楽だより」から、全体への連絡と1～6年生からの連絡を記載した形式に変更します。それに伴い、11月からは月ごとに発行していた学年だよりは無くなり、学年で特別に連絡することがあった場合のみの発行になります。

これまで学年だよりでお伝えしていた学習内容については、11月から3月まで一覧となっているものをお渡ししますので、そちらでご確認ください。ホームページにも掲載しています。ご理解のほど、よろしく申し上げます。

